OPERATION CONTROL DEVICE

Publication number: JP3080795

Publication date:

1991-04-05

Inventor:

YASAKA MINEO

Applicant:

TOKYO SHIBAURA ELECTRIC CO

Classification:

- international:

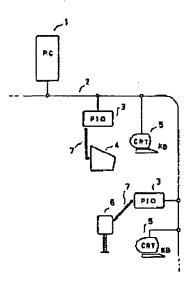
H04Q9/00; H04Q9/00; (IPC1-7): H04Q9/00

- European:

Application number: JP19890215993 19890824 Priority number(s): JP19890215993 19890824

Abstract of JP3080795

PURPOSE: To enable the manual operations of all targeted equipments to be performed selectively, to remarkably reduce the number of manual operating equipments at every operated system required in a conventional system inevitably, and to realize the reduction of a space by providing only a pair of operating switches by combining a manual operating switch with a CRT device. CONSTITUTION: This operation control device is composed of an arithmetic controller 1, the CRT device 5, and the input/output device 3 of the arithmetic controller, connected with data transmission equipment 2. The input/output device 3 is connected to a driver's cage control panel 4 or a site control panel 6 with a control cable 7, respectively. In such constitution, an operator displays the summary list of the operated system on a CRT screen with the keyboard KB of the CRT device, and selects the operated system out of the summary list of the operated system by a contact operation on the CRT screen or the operation of the keyboard KB. The arithmetic controller 1 allocates an input/ output signal from the operating equipment of the control panel 4 or 6 as the operating signal of a selected operated system corresponding to a selection signal, and those operations are performed with a software processing in the arithmetic controller 1.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

®日本国特許庁(JP)

(1) 特許出願公開

② 公 開 特 許 公 報 (A) 平3-80795

®Int.Cl.⁵

識別配号

庁内整理番号

❸公開 平成3年(1991)4月5日

H 04 Q 9/00

3 6 1 3 5 1 7060-5K 7060-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

9発明の名称 運転操作装置

②特 頭 平1-215993

@出 顯 平1(1989)8月24日

⑩発明者 八坂 岑:

東京都港区芝浦1丁目1番1号 株式会社東芝本社事務所

内

⑪出願人 株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

個代 理 人 弁理士 猪股 祥晃 外1名

明 知

1. 発明の名称

迎転操作装置

2. 特許請求の範囲

淑な勧御装置、CRT装配および機作盤をデータ伝送装置を介して結合した運転操作装置において、操作対象の一覧数をCRT画面上に設示させる手段、CRT画面の接触操作または幾作盤上のキーボードの操作によって上記操作対象を選択する手段、および機作盤との共通の操作スイッチの操作によって上記選択された操作対象を手助操作する手段を備えたことを特徴とする運転操作装置。

3. 発明の詳細な説明

[発明の目的]

(産業上の利用分野)

本発明は、演算制御装置とCRT装置とを組合せることによって手動機作用品を簡易化した選転機作装置に関するものである。

(従来の技術)

最近の運転操作装置は、演算制御装置やその 閉辺装置の発達および設備の近代化と自動化の動 向に伴って、モニタやスイッチ操作にCRTの利 用が増加してきている。

しかしこの場合でも、機械の保守時や自動道転前の準備政際で各操作対象を手動操作するための それぞれの操作スイッチを操作盤に設ける必要が ある。

従って通常選転中には提作の不要なスイッチを 数多く操作盤上に配置しなければならず、これに 応じて選転室を広くしなければならないという問 期がある。

(発明が解決しようとする課題)

本発明は、手動機作スイッチをCRT装配と 組合せることによって、1組の操作スイッチを設 けるだけですべての対象機器を選択的に手動機作 できる合理的な運転機作装配を提供することを目 的としている。

(発明の構成)

(課題を解決するための手段と作用)

本意明は、演算制御装置、CRT装置および 操作盤をデータ伝送装置を介して結合した逆転機 作装置において、操作対象の一覧表をCRT画面 上に表示させる手段、CRT画面の接触操作また は操作盤上のキーボードの操作によって上記操作 対象の一覧表の中から操作対象を選択する手段、 および操作盤上の共通の操作スイッチの操作によって上記選択された操作対象を制御する手段を錯 え、多数の制御対象を共通の操作スイッチによっ で選択的に手動操作できるようにしたものである。

(実施例)

本発明の一実施例を第1図および第2図に示す。

第1回は本発明の運転選作装置の構成を示すもので、演算制御装置1、CRT装置5および演算制御装置の入出力装置3をデータ伝送装置2で結合している。

入出力装置3と連転室族作業4または引替操作 盤6との間はそれぞれ制御ケーブルフで接続され ている。従って、操作盤4または6から入力され た機作信号はそれぞれの入出力装置3に入力され、 データ伝送装置2を介して演算制御装置1に入力 され、演算制御装置1の出力信号は上記の逆のル ートを通って操作盤4または6に入力される。

CRT装置5は瀕祭制御装置1との間でデータ 伝送装置2を介してデータを投受し、これらのデ ータを画面上に表示したり、ギーボードからの入 力信号によって画面の制御を行ったり、他の制御 信号として淡質制御装置1へデータを入力したり する。

第2図は、CRT装置5の画面に従って手動頭転を行うときの画面上の表示内容の一例を示したもので、手動運転操作は下記の手順に従って行われる。

- (i) CRTのキーボードで第2図の画面を選択する。
- ② 次に操作対象を選択する。

これはキーボードによってもよく、また画面を接触操作式のものとし、操作者が指で画面上の操作対象触れることによって行っても

よい.

CD 選択された操作対象は表示色を変え、選択されたことを操作者に表示する。POSITION個はその操作対象の現在位置を表示しており、操作によって刻々その値が変化する。位置表示の不要な操作対象の場合にはこの側はスペースとなる。

演算制御装置1は選択信号に応じて操作整4の操作用品からの入出力信号を選択された 操作対象の操作信号として割付け、これらの 操作は演算制御装置1でのソフト処理によっ て行われる。

(f) 次に設作スイッチ43によって正逆2ノッチ の運転機作を行う。設示ランプ41,42は停止 または選転の状態を設示する。

他の操作対象を操作するときにも上記と同じ手順で行う。操作対象のうち、激送テーブルなど複数の機械を1つのスイッチ操作で運動させるときは、第2図の画面上に複数の機械を1つの操作対象としてまとめることにより可作となる。

なお機作盤4に設ける機作用品として第2図では機作スイッチを示しているが、押却スイッチとしてもよく、また機作者が両手で別々の機械を操作したい場合には2組の機作用品を取付ければよい。また第1図に示す乳場操作盤6からも同様な機作が可能である。

(発明の効果)

以上説明したように本発明によれば、 従来不可欠であった操作対象ごとの手動操作用品の数を 大幅に削減でき、スペースの類少が実現できる。

近年は接触機作の可能なCRT装置が出現し、 画面機作による手助選転も可能になったが、信知 性、確実性、機作者の感覚などの点で問題があり、 水発明のように慢作スイッチを組合せることによ ってこれらの問題点が解決できる。

4. 図面の簡単な説明

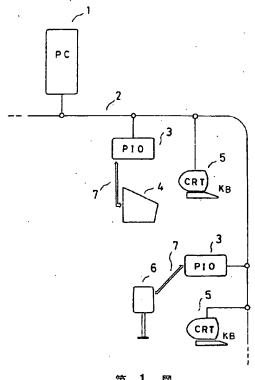
第1回は本発明の一実施例を示す構成図、第 2回は本発明におけるCRT表示画面と操作盤との関係の一例を示す図である。

1 沒算制御装置

特閒平3-80795 (3)

- データ伝送装置
- 入出力装置
- 迎标室操作整

代理人 弁理士 猪 股 祥 晃(ほか1名)



第 1 図

